

要求実現の力をもつ  
労働組合をめざし  
全国で組織建設と  
拡大をすすめよう！



発行所  
**JMITU**  
(日本金属製造情報通信労働組合)  
〒114-0023 東京都北区滝野川  
3-3-1 ユニオンコーポ 3階  
電話 (03) 5961-5601~2  
FAX (03) 5961-5603  
※組織外、無断転載禁止

## 要求実現と組織拡大に全力、9条改憲阻止へ 産業別統一闘争と組織建設の前進を確信に、新年度の飛躍誓う



組織拡大での前進を確信に新たな飛躍を誓った第8回定期大会（7月13日 熱海市内）

JMITUは7月13～14日、第8回定期大会を開催し2020年度運動方針を採択。要求実現と組織の拡大強化、憲法9条改憲の阻止と産業別統一闘争で、安心して働き続けられる職場と社会をめざすとりくみの前進を誓いました。

19春闘は財界・大企業と連合大手による賃上げ抑制攻撃が強まる厳しい情勢のもとでのたたかいとなりましたが、JMITUはアンケートや家計簿調査、奥様アンケートなど職場の仲間だけでなく家族からも要求を集め、生計費原則に立った要求づくりをすすめました。二次にわたる統一ストライキへの参加と産別団交など、産業別統一闘争の強化を最後まで強め、ほぼ前年並みの回答水準を維持させることができました。

秋闘をはじめこの数年ねばり強くとりくんでいる継続雇用者や非正規雇用労働者の処遇改善、初任給引き上げ要求では、秋闘に続いて春闘のなかでも各

地で顕著な前進がありました。

組織建設では、新結成や新加入が続き、この数年の減少傾向に歯止めをかけ、増勢まであとわずかのところまで拡大が前進しました。

討論では、「8支部中7支部が統一ストに参加し、要求を前進させ団結強化につながっている」（東京東部）、「職場の組合員が同じ課に配属された新入社員をさそってるところまで変化。昨年に続き加入者を迎えた」（埼玉）、「機関紙の机上配布や社前での宣伝などでパワハラとたたかう組合の姿を見せ、毎月連続加入者を迎えている」（日本IBM）など、産業別統一闘争と組織建設の経験が報告されました。

三木委員長、笠瀬書記長、川口副委員長、宇佐美副委員長など再任。副委員長に新たに久松博行さん（大阪）、中央執行委員に鈴木透さん（東京）が選任されました。

# 共闘の力で改憲3分の2を阻止し、改憲策動を阻止した

## —第25回参議院議院選挙の結果について

2019年7月27日

JMITU中央執行委員長 三木陵一

(1) 2019年7月21日、第25回参議院選挙(改選総数124議席)の投開票が行われました。JMITUは、この参議院選挙を労働者のくらしと職場、日本社会の未来にとって極めて重要な選挙であると位置づけ、選挙をつうじて、9条改憲阻止や消費税増税中止など労働者の要求を実現することをめざし、すべての組合員や職場労働者に選挙に参加し主権者としての権利を行使しようと呼びかけてきました。

(2) 今回の参議院選挙の最大の注目点は、自民・公明・維新など改憲勢力が改憲発議に必要な議席の3分の2(164議席)を維持するかどうかでした。この点では、改憲勢力の議席は160議席にとどまり3分の2を割りました。今回の参議院選挙の結果は、「期限ありきの性急な改憲には賛同できない」という国民の意思を明瞭に示したものであり、今回の選挙結果は極めて重要です。

(3) 改憲3分の2阻止という結果をつくりだした力は、市民と野党の共闘です。「市民連合」と交わした13項目の共通政策にもとづき、全国で32の一人区すべてで野党統一候補を実現し、改選2議席から10議席へと大躍進しました。市民と野党の共闘が、安倍政権の改憲策動に痛打を与え、あらたな政治局面を切り開く大きな力となったのです。

(4) 自民党は、改選前から9議席減の113議席にとどまり単独過半数を失いました。公明党とあわせた与党全体の議席は過半数を超えたものの改選前より7議席減りました。いっぽうの野党は、選挙前の85議席から104議席に前進しました。この結果は、消費税10%増税中止をはじめとする国民の切実な思いの反映です。安倍政権はこの民意を真摯に受け止め、改憲や消費税増税をただちに中止すべきです。

(5) 今回の選挙をつうじて、共闘をひろげ、国民みんなが主権者としての意思を選挙で示せば、政治を変えることができるという展望をつくり出しました。いっぽう、今回の投票率が48.80%にとどまり、1995年参院選の44.52%に次ぐ低さとなったことは非常に残念なことです。選挙は主権者の意思にもとづいた政治を実行させる重要な手段であり、議会制民主主義の土台です。もし、今回の参議院選挙で、もっと多くの国民が投票に参加し安倍暴走政治への怒りを行動で示していたならば、政治をさらに大きく変えたことは明らかです。JMITUはあらためて、組合員と職場労働者のみなさんが投票に行き、主権者としての意思をしっかりと示すことの重要性を呼びかけるものです。

(6) 安倍首相は、選挙で示された民意を無視して「2021年までに憲法改正を実現する」と明言し、9条改憲にあくまで固執しています。JMITUは、3000万署名の推進など、憲法と民主主義をまもる市民と野党と連帯し、安倍9条改憲阻止、消費税10%増税中止など安倍暴走政治を阻止し、安倍政権打倒をめざして全力をあげてたたかいます。

### 32の1人区で共闘の威力発揮

## 6年前2勝、今回は10選挙区で勝利 総選挙に向け本格的共闘へ

今回の参院選で安倍内閣に維新も加わる改憲勢力が3分2を割り込んだことは、9条改憲の国会発議を阻止し、改憲の企てに歯止めをかける上できわめて重要な意味を持ちます。

この結果は、市民と野党が安保法制廃止と安倍

9条改憲阻止、消費税10%中止、原発ゼロ、辺野古基地建設中止など、安倍政権の暴走を許さ憲法と国民のくらし、民主主義をまもる13項目の共通政策で合意し、32ある1人区で候補を1本化してたたかい、10選挙区(6年前は2勝)で勝利したことでつくりだされました。

選挙後も安倍政権は、改憲に執念を燃やし、解散総選挙も視野に動いています。市民と野党の共闘をさらに本格化させるなら、「安倍政権に変わるまともな政治を」の大きな世論をつくり出し、劇的な政治的变化を生み出すことも可能です。

「JMITU」(メールニュース版)は、毎月発行を基本としつつ、闘争時の職場のたたかいなどを適時発信していきます。各支部・分会などひろく展開してください。